

こよみ
妙高の暦を学んで…

妙 平成 26 年度版 妙高歳時記カレンダー

始めよう！ごつつお生活👍



○ぼたもち ○雪下野菜 ○ふきのとう、山菜初物

3月◎ 弥生

草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月(きくさいやおひづき)」が詰まって「やよひ」となった

雪国の春♪の味

つくし、ふきのとう、かんぞう、かたくりのおもしろ話

①



③



②



④



⑤



- 3月1日 草木萌動(そうもくめばえいずる・七十二候)
- 3月3日 上巳・桃の節句(五節句)ひな祭り
- 3月6日 啓蟄(けいちつ・二十四節気)・蛰虫啓戸(すごもりむしとをひらく・七十二候)土の中で冬ごもりしていた虫が目覚める頃
- 3月9日 山の神(やまのかみ・地域の風習)
- 3月11日 桃始笑(ももはじめてわらう・七十二候)
- 3月16日 菜虫化蝶(なむしちょうとなる・七十二候)
- ▼3月18日 彼岸の入り(雑節)
- 3月21日 春分(八節)・雀始巢(すずめはじめてすくう・七十二候)
- ▲3月24日 彼岸の明け(雑節)
- 3月26日 櫻始開(さくらはじめてひらく)
- 3月31日 雷乃発声(かみなりすなわちこえをはっす・七十二候)

春彼岸 7日 + 秋彼岸 7日 = 14日

春分と秋分を中日とし、前後各3日を合わせた各7日間を彼岸と呼ぶ。仏教の「極楽浄土・ごくらくじょうど」は西の遙か彼方にあると考えられ、西の方角に信仰を深める。(西方浄土)春分と秋分は、太陽が真東から昇り、真西に沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、遙か彼方の極楽浄土に思いをはせたのが彼岸の始まり。



『妙高の暦を学んで…始めよう!ごつつお生活』

「日本の節句や行事食」「地域の伝承料理」には、季節に穫れる材料の活かし方や楽しい暮らしのヒントが満載。妙高の風土を活かした保存食作りや行事食から、自分流の「四季の暮らしの楽しみ方」を見つけてみましょう。『始めよう!ごつつお生活』は、魅力あふれる地域の食文化を暦をめくるように学ぶ、おいしい暮らしのセミナーです。



水と新学園
THE MIZU TO MAKI CAMPUS



「妙高歳時記カレンダー」は、水と新学園「妙高ミュージアム」で製作しています。水と新学園では各種受講者を募集中!
<http://mmc.artnais.net> (村越まで)
妙高市楡島 ☎ 0255-75-3941